

験では六月に植えて育った稲を、かまで丁寧
 に刈っていききました。また、刈った稲はわら
 で束ねていききました。田植えが大変だ。たの
 で、稲のたくさんの稲穂を見た時はとてももう
 れしく、達成感を感じました。稲はとても硬
 く、かまを使って手作業で刈っていくのは、
 とても大変で苦勞しました。私は、稲刈り体
 験をしてみても、農家の方たちは毎年このよう
 なことをされていると、改めてよく分かりま
 した。また、その田んぼを管理されている方
 のお話によると、私が行ったことは田植えと
 稲刈りだけだけど、その間では草抜きや水の
 調節までされており、とても手間がかかるそ
 うです。
 私はこのような田植え、稲刈り体験を通し
 て、田植えや稲刈りの大変さ、難しさを感じ
 ました。また、そこから田んぼが広がる景色
 はとてもきれいだけど、その分お米は、苦勞
 して作られていると思います。そして、私
 は全て手作業で行ったけれど、機械で行うこ

とが多いと思います。けれど、天気の確認を
 したり、草抜きや水の調節をしたりすること
 は、機械ではできず必ず行わないといけない
 ため、より大切だと分かりました。だからこ
 そお米は、大切に食べなければいけないと思
 います。作業が終わってから、用意してくだ
 さっていたおにぎりや豚汁をいただき、みん
 なで一緒に食べました。大変な作業を頑張
 った後だからこそ、お米がよりおいしく感じま
 した。そして、改めて感謝することが大切だ
 と思いました。

中学校専用原稿用紙

私はこの体験から、改めてお米を残さずし
 っかり食べることを心がけています。これか
 らも、お米一粒一粒に感謝していききたいです。
 そして、食事の最初と最後の「いただきませ
 ーごちそうさまでした」の挨拶も忘れずに意
 識して行い、お米を食べながら、家族で楽し
 い食事をしたと思います。今年も、新米の
 季節が楽しみです。